

一人ひとりが輝いた夏井祭



10月24日（土）に、多くの保護者、御来賓、地域のみなさんのご臨席をいただき、盛大に夏井祭を行いました。

午前の部は、開会行事と日本語弁論、韓国派遣事業報告、合唱コンクールを、午後は、各学年の発表を行いました。どの企画、発表も、生徒たちは精一杯全身で表現し、充実した楽しい一日となりました。

この日までの準備にあたり、勉強、日常の生徒会活動、部活動などと両立させて夏井祭を成功させるために、生徒たちには次の3点を意識させました。

- 1 すべての活動が無理なくできるような、しっかりしたスケジュールを立てること。
- 2 どの取り組みにも集中力を高め、短時間で成果を上げられる取り組み方を覚えること。
- 3 前の活動を引きずらずに、けじめをつけて切り替えること。

以上を通じて、「時間の使い方や取り組む姿勢を良くし、やりきることで一回り遅しくなろう。」と呼びかけました。

授業中の様子、部活動、生徒会活動と夏井祭の内容から判断して、「よくできた。」と思います。何より、夏井祭の一日を通じて、一人ひとりの生徒の表情が実に生き生きしていて、輝いている姿にとっても感動しました。そして、この感動を与えてくれた生徒と指導された先生方、物心両面でお子さんと学校を支えていただいた保護者の皆さんに感謝します。有難うございました。



合唱コンクール



最優秀賞は、3年1組、2組



3年生の合唱は実に素晴らしかったです。聞いていて感動のあまり、目頭がじんときてしまいました。「感動で涙する」って、実によいものです。

お陰で審査ももめて、お二人の審査員の先生方は、「甲乙つけ難し」と

なり、最終的にどちらも最優秀賞とすることになりました。男子が多い学年で、男女のバランスを取ってハーモニーをつくり上げるのは大変だったと思いますが、見事にやっていたのです。

各学年の結果と表彰は次の通りです。



	学年金賞	指揮者賞	伴奏者賞
1学年	1の2	小野 溪太	中野 文
2学年	2の1	長谷川伸幸	藤川 由衣
3学年	3の1, 3の2	佐野 主馬	佐藤 美里



オープニングは、恒例の夏井祭実行委員と生徒会役員による開幕劇とダンスです。

2年生は、ファイナンス・パークで学んだことを、寸劇で発表しました。



1年生は、「あるある探検」で町内を見学した内容を、寸劇で紹介しました。



3年生は、学級ごとに劇とダンスの発表です。おそろいの T シャツで決まっていた。

生徒も活躍しましたが、先生方も生徒に負けず、合唱とダンスを発表しました。練習不足もなんのその、生徒のエネルギーに負けずに、精一杯発表しました。実に、充実した1日でした。